



2021年10月分

 TOKYO CUSTOMS HANEDA BRANCH
 東京税関羽田税関支署


羽田空港貨物取扱量

総取扱量が7カ月連続、積込量は8カ月連続、取卸量は7カ月連続で増加

概要

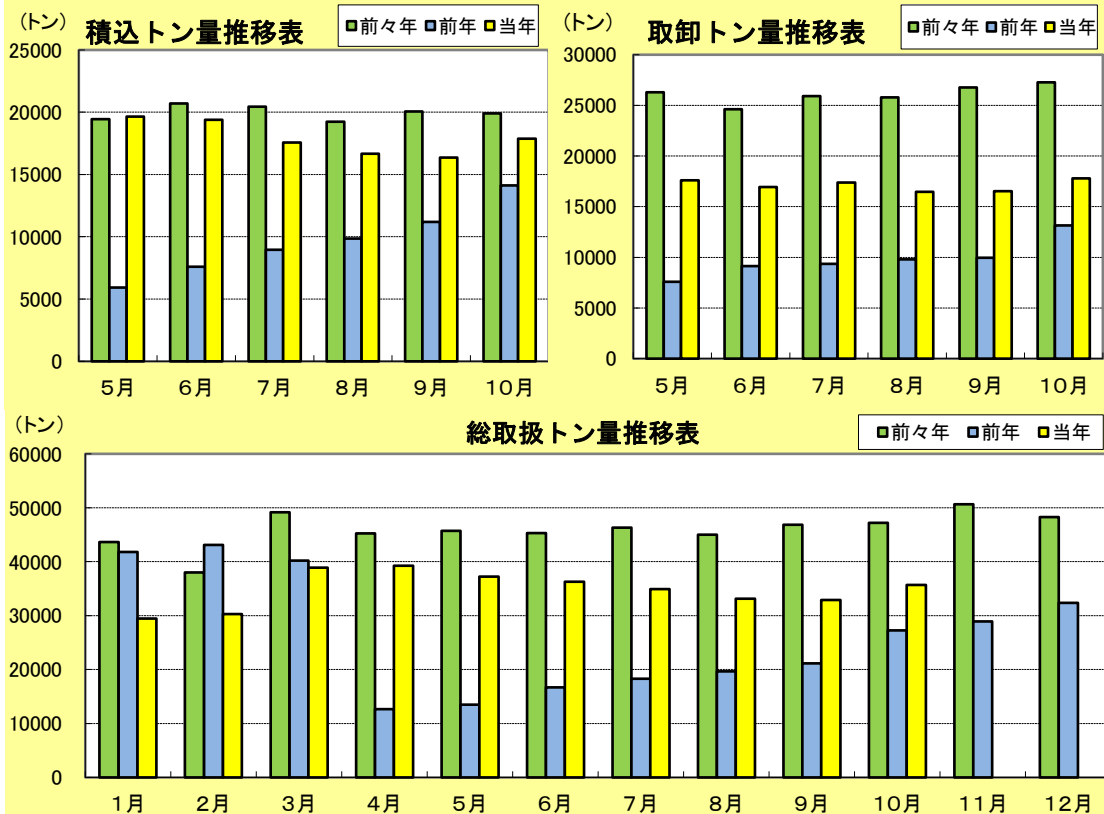
2021年10月の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

総取扱量 35,671トン(前年同月比 30.9%増)

積込量 17,869トン(同 26.6%増)

取卸量 17,802トン(同 35.5%増)

となり、前年同月比で見ると、総取扱量と取卸量が7カ月連続でプラス、積込量は8カ月連続でプラスとなった。



1. 本資料を他に転載するときは、東京税関(羽田税関支署)の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課(TEL050-5533-6971)まで。



地域別通関動向

● 輸出量

羽田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 1,198トン(前年同月比 61.0%増、シェア12.1%)

その他地域通関 8,697トン(同 48.8%増、同 87.9%)

となり、前年同月比で見ると、羽田地域通関、その他地域通関ともに、8カ月連続でプラスとなった。

● 輸入量

羽田空港で輸入された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 5,029トン(前年同月比 29.8%増、シェア 45.2%)

その他地域通関 6,102トン(同 51.4%増、同 54.8%)

となり、前年同月比で見ると、羽田地域通関、その他地域通関ともに、7カ月連続でプラスとなった。



仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量 7,974トン(前年同月比 6.0%増)

取卸量 6,671トン(同 27.6%増)

となり、前年同月比で見ると、積込量は8カ月連続でプラス、取卸量は7カ月連続でプラスとなった。



生鮮・ドライ取卸貨物動向

2021年10月の羽田空港で輸入された貨物(羽田地域通関分)を生鮮貨物及びドライ貨物別にみると、

生鮮貨物 1,066トン(前年同月比 21.4%増、シェア 21.2%)

ドライ貨物 3,963トン(同 32.2%増、同 78.8%)

となった。

生鮮貨物の内訳は、野菜等34.2%(同4.9%増)、水産物27.7%(同6.4%減)、果物10.8%(同127.3%増)、植物(切花等)11.1%(同97.7%増)等となった。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

	2021年10月			2020年10月		
	トン	前年同月比	構成比	トン	前年同月比	構成比
羽田空港輸入貨物量	5,029	129.8%	100.0%	3,875	43.8%	100.0%
生鮮	1,066	121.4%	21.2%	878	65.4%	22.7%
ドライ	3,963	132.2%	78.8%	2,997	40.0%	77.3%